

日向・門川地区その他水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄手川水系など7水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。



- 【対象水系】
- ①丸バエ川水系
 - ②鳴子川水系
 - ③庄手川水系
 - ④亀崎川水系
 - ⑤赤岩川水系
 - ⑥石並川水系
 - ⑦水無川水系

- 【宮崎県】
- ・森林整備（再造林、下刈り、間伐等）
 - ・治山事業（治山ダム、山腹工等）
 - ・農業用ため池の整備 等
 - ・多面的機能支払制度等の活用

- 【宮崎県】
- ・水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した水位情報等の提供
 - ・浸水想定区域図の作成・データ提供
 - ・防災の日、防災週間における防災啓発
 - ・防災士の養成及び出前講座の実施
 - ・防災重点農業用ため池マップの周知



水防用資機材の備蓄【門川町】

- 【門川町】
- ・草木・堆積土砂の除去
 - ・森林整備（造林・下刈等）
- 【門川町】
- ・ハザードマップを活用した啓発
 - ・防災訓練の支援
 - ・地域防災計画の作成支援
 - ・戸別受信機無償貸与世帯の増加
 - ・自主防災組織の資機材充実

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 【洪水氾濫対策】
- ・河道掘削、樹木伐採、護岸整備 等
- 【土砂災害対策】
- ・砂防堰堤の整備 等
- 【高潮、地震・津波対策】
- ・堤防の地震対策 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】
- ・農業用ため池の整備 等
 - ・多面的機能支払制度等の活用
 - ・森林整備（再造林、下刈り、間伐等）
 - ・治山事業（治山ダム、山腹工等）
 - ・森林の保全・整備
 - ・水源林造成事業 等



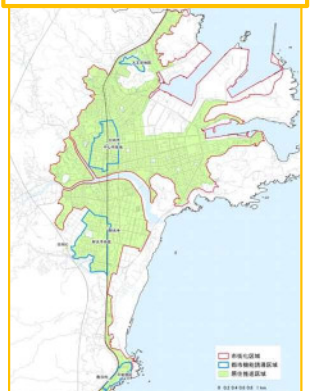
農業用ため池の整備【宮崎県】

■被害対象を減少させるための対策

- 【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】
- ・災害リスク情報提供による低災害リスク区域への立地誘導
- 【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実】
- ・防災に関する関係機関や計画の連携強化



立地適正化計画の推進【日向市】



- 【日向市】
- ・河川パトロールによる水災害リスク情報の把握
 - ・水防用資機材の備蓄・管理
 - ・ハザードマップ等を活用した啓発
 - ・防災訓練の支援
 - ・地区防災計画の作成支援
 - ・防災情報配信サービス登録者の増加
 - ・立地適正化計画による一定の開発行為・建築等行為の届出義務

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 【土地の水災害リスク情報の充実】
- ・水位情報等の提供 等
 - ・河川パトロールによる水災害リスク情報の把握
 - ・浸水想定区域図の作成・データ提供 等
 - ・防災重点農業用ため池マップの周知
- 【避難体制等の強化】
- ・ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 等
 - ・防災の日、防災週間における防災啓発
 - ・防災士の養成及び出前講座の実施
- 【経済被害の軽減】
- ・水防用資機材の備蓄・管理

■グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf524】

日向・門川地区その他水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 庄手川など7河川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】浸水の恐れがある箇所での河道掘削や土砂災害対策として砂防堰堤の整備、令和3年6月に公表した日向市立地適正化計画による関係機関や計画の連携強化、水害リスク情報の空白地帯の解消に向けた検討・調査を実施する。
 - 【中期】雨水貯留機能向上として農業用ため池の整備・改修、水位情報の充実やハザードマップ等を活用した避難啓発、支援等を実施し、避難体制の強化を図る。
 - 【中長期】計画的な堆積土砂撤去・支障木伐採、流域の雨水貯留機能の向上として森林整備や治山事業を実施し、流域全体の治水安全度向上を図る。

■ 河川対策 (約 2億円)
 ■ 砂防対策 (約 2億円)

| 区分 | 対策内容 | 事業主体 | 工程 | | | |
|---------------------|---|--------------------------------|------------------|------------------------------------|--------------------------|--|
| | | | 短期 | 中期 | 中長期 | |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 洪水氾濫対策 | 宮崎県 日向市、門川町 | 河道掘削、樹木伐採、護岸整備 等 | 河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去 等 | | |
| | 土砂災害対策 | 宮崎県 | | 砂防堰堤の整備 等 | | |
| | 高潮、地震・津波対策 | 宮崎県 | | 堤防の地震対策 等 | | |
| | 流域の雨水貯留機能の向上 | 農業用ため池の整備 等 | 宮崎県 | 農業用ため池の整備 等 | | |
| | | | 地元活動組織 | | 多面的機能支払制度等の活用 | |
| | | | 宮崎県 | | 森林整備(再造林、下刈り、間伐等) | |
| | | | 宮崎県 | | 治山事業(治山ダム、山腹工等) | |
| | | | 日向市 | | 森林整備(造林・間伐・一貫施業) | |
| | | | 門川町 | | 森林整備(造林・下刈等) | |
| | 流出抑制対策 | 宮崎県 | 宮崎県北部森林管理署 | | 森林の保全・整備 | |
| 森林整備センター | | | | 水源林造成事業 | | |
| 被害対象を減少させるための対策 | 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実 | 日向市 | | 災害リスク情報提供による低災害リスク区域への立地誘導 | | |
| | | 日向市 | | 防災に関する関係機関や計画の連携強化 | | |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 土地の水災害リスク情報の充実 | 宮崎県 | | 水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した水位情報等の提供 等 | | |
| | | 宮崎県、日向市 | | 河川パトロールによる水災害リスク情報の把握 | | |
| | | 宮崎県 | | 浸水想定区域図の作成・データ提供 等 | | |
| | | 宮崎県 | | 防災重点農業用ため池マップの周知 | | |
| | 避難体制等の強化 | 日向市、門川町 | 日向市、門川町 | | ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 等 | |
| | | | 宮崎県 | | 防災の日、防災週間における防災啓発 | |
| 経済被害の軽減 | 日向市、門川町 | | | 防災士の養成及び出前講座の実施 | | |
| グリーンインフラの取組 | 治水対策における多自然かわづくり | 宮崎県 | | 生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出 | | |
| | | 宮崎県 | | 河川景観の保全・創出 | | |
| | 自然環境の保全・復元などの自然再生 | 宮崎県、日向市、門川町、宮崎北部森林管理署、森林整備センター | 宮崎県、日向市、門川町 | | 湿地等の貴重な自然環境の保全 | |
| | | | 宮崎県 | | 生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出 | |
| | 魅力ある水辺空間・賑わい空間創出 | 宮崎県 | | | 川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持 | |
| 自然環境が有する多様な機能活用の取組 | 宮崎県、日向市、門川町 | | | 水辺空間のレジャー等の利用 小中学生や任意団体等による環境学習 | | |

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。